

2026

JOIN US!

覚醒

私が動けば 未来がひらく

地域を巻き込む関東地区大会の実施
立川の多文化共生を推進する国際事業
そして、地域の総力を結集した青少年事業
自ら考え行動する仲間として、具体的な運動で未来を切りひらく
共に成長し、立川に新たな価値を創り出す
あなたの覚悟が、立川の未来を創る

【お問い合わせ】

公益社団法人立川青年会議所 事務局
TEL : 042-527-1001 FAX : 042-527-6600
E-mail : info@tachikawajc.or.jp
URL : <https://www.tachikawajc.or.jp>

 tachikawa_jc

 @tachikawa_jc



 @Tachikawajc

 @Tachikawajc



公益社団法人立川青年会議所



トップメッセージ

公益社団法人立川青年会議所
第62代理事長

藤野 直美



理事長経歴

氏名：藤野 直美

生年月日：1987年12月19日
勤 務 先：有限会社藤野企画 代表取締役
2016年 入会 総務広報委員会 委員
2017年 リクルーティング委員会 幹事
[公社]日本青年会議所 総務グループ JCブランディング会議 委員
2018年 総務委員会 副委員長
[公社]日本青年会議所 総務グループ 渉外委員会 委員
2019年 ブランディング戦略委員会 委員
[公社]日本青年会議所 総務グループ 渉外委員会 広報幹事
2020年 総務広報委員会 委員
[公社]日本青年会議所 総務グループ JCブランド確立会議 副議長
2021年 拡大広報委員会 委員長
[公社]日本青年会議所 総務グループ 組織価値浸透委員会 委員
2022年 総務広報委員会 委員長
[公社]日本青年会議所 総務グループ JCブランドマネジメント会議 委員
2023年 渉外研修委員会 委員長
[公社]日本青年会議所 総務グループ 総務委員会 委員
2024年 財政規則審査会議 議長
[公社]日本青年会議所 総務グループ 財務運営会議 議員
2025年 副理事長
[公社]日本青年会議所 東京ブロック協議会 国際交流創出会議 議長
2026年 第62代理事長（現職）

立川青年会議所は1965年に設立され、国際青年会議所の一員として活動を続けてきました。

20歳から40歳までの青年が集い、地域社会の課題解決と人材育成に取り組む団体です。

これまで青少年育成事業、多文化共生の推進、スポーツや文化を通じた地域連携など、多様な活動を展開し、

立川をはじめとする地域の持続的な発展に寄与してまいりました。

2026年度、当会は創立62年目を迎え、「覚醒～私が動けば未来がひらく～」をスローガンに掲げています。

これは、一人ひとりが主体者として目を覚まし、自らの意志で行動することで未来を切りひらくという決意を込めたものです。

青年会議所の特徴は、地域貢献団体ではなく、会員自身が成長する「自己修練の場」であることです。

事業の企画・運営を通じてリーダーシップを磨き、仲間と議論しながら意思決定を重ねることで、

社会人としての力を養います。失敗も成功も経験しながら挑戦を続ける過程そのものが、会員一人ひとりの成長を育みます。

そうして得た成長が地域に新たな価値をもたらし、未来を担う世代へと広がっていきます。

立川青年会議所は、一人ひとりが自分らしく輝ける場をつくり出し、その力が繋がり合うことで

地域の未来をひらいていくことを目指しています。

築かれた歴史や関係を未来へと活かすか否かは、今を生きる私たち次第です。

これからも地域と共に歩み、持続可能で包摂的な社会の実現に向けて邁進してまいります。

組織概要

Corporate Profile

2026年度スローガン

覚醒

私が動けば 未来がひらく

法人情報

団体名

公益社団法人立川青年会議所

創立年月

1965年7月

社団法人取得年月

1972年5月

公益社団法人取得年月

2013年1月

事務局所在地

190-0012 東京都立川市曙町2-38-5 立川ビジネスセンタービル12F

TEL 042-527-1001／FAX：042-527-6600

Email: info@tachikawajc.or.jp

HP: https://www.tachikawajc.or.jp

正副理事長

代表者：理 事 長 藤野 直美

役 員：副 理 事 長 中野 聖太 (関東地区大会実行委員会 担当)
副 理 事 長 川端 翼 (Global委員会・青少年委員会 担当)
専 務 理 事 小川 雄大 (拡大広報委員会・総務渉外委員会
財政規則審査会議・事務局 担当)

監 事 田中 有希

外 部 監 事 栗原 茂行 (東京JC出身)

直前理事長 長井 俊

■事業内容

- 1：地域社会の産業経済の健全な発展を目的とするため、地域社会における次世代のリーダーを育成する事業
- 2：地域社会における文化向上・まちづくりへの市民参加意識向上に関する事業
- 3：地域社会における青少年健全育成等に関する事業
- 4：地域社会における国際化の推進に寄与する事業
- 5：その他本会の目的を達成するために必要な事業

■2026年度 基本理念

・自らの意志で動き、未来を切りひらくJAYCEEであれ

■2026年度 基本方針

・誰もが主役となる運動の展開 ・多様な繋がりで持続可能な地域社会の共創 ・自ら考え、行動する会員の育成

■2026年度 全体事業

- ・地域を巻き込んだ関東地区大会の実施
- ・地域の多文化共生を推進する国際事業の実施
- ・地域の総力を結集した青少年事業の実施
- ・共に成長する仲間づくりと運動を広げる広報の実施
- ・多様な価値観に触れ、視野を広げる各渉外事業への参加

立川青年会議所とは

立川青年会議所は1965年[昭和40年]に全国で300番目、東京で2番目の青年会議所として設立され、現在では現役65名、OB400余名を有し、

立川・国立・武蔵村山の3市を活動エリアとして、まちづくり・ひとづくり運動を展開しております。

役員・組織・事業などは「組織の活性化と事業の斬新性」を保持するために1年ごとに変わる『単年度制』を採用しております。

History

1965年 — 立川・昭島・国立・大和・村山の2市3町(当時)87名の有志により立川青年会議所設立

1966年 — 交通安全運動
記念事業として「交通戦争の夜明け」とも言われた時代、地域内2市3町の全校児童に安全標語入の下敷きを寄贈。

1967年 — 長寿の集い
設立3年目にして地域社会の関係事業「長寿の集い」を開設。立川、昭島で250名のお迎えして労う。

ランドセルカバー寄贈

交通事故から子供を守る為、新入学小学生にランドセルカバーを寄贈。「黄色いランドセルカバー」は立川青年会議所から始まり全国に発信。

1971年 — **温陽青年会議所(韓国)と姉妹JC締結**
現在も定期的に交流を継続し、両国の平和について話あっています。両国の平和、発展について、現在も定期的に交流を継続。

1972年 — 社団法人認可

1980年 — 5,000人の市民意識アンケート調査の実施
ちびっこサマースクールの開催

1981年 — **第5回わんぱく相撲 東京場所**
立川チーム初出場、初優勝。
子供たちの心身の鍛錬と健康の増進を目的に開催。

1984年 — 塞ノ神どんど焼き
立川青年会議所が市内26団体に呼び掛け実行委員会を組織し、南北の市民交流と伝統文化の継承を目的として開催。
多摩メトロポリス祭
第1回多摩メトロポリス祭を開催。現在の楽市の前身として、10年間続いた。

1993年 — 中学生日本縦断 TAMAっ子サイクリング隊
力を合わせて苦戦を乗り越える。数日間に渡って自転車で日本縦断を達成。

1997年 — **キッズフェスティバル**
多摩メトロポリス祭が名前を変えキッズフェスティバルへ。「1,000人コンサート」など、地域最大規模のイベントへ進化。

2001年 — 第30回東京ブロック会員大会 立川大会の開催

2004年 — 創立40周年記念フェスタの開催
「わくわくクラブ」設立
子供たちが先生となり違う地域の子供たちを教える事業で、子供たちのコミュニケーションを図る為に開催。

2005年 — 花いっぱい運動
むさしむらやまグリーンフェスタの開催
100万本のキャンドルナイトの開催

2006年 — 初の市民討議会
「wellvoice 立川市民討議会」を開催

2007年 — ふれあいフェスタ2007の開催
シビックティーチャープARKを設立

2008年 — **第21回JCI国際アカデミー in 立川の開催**
世界80カ国の青年会議所メンバーが立川へ。ホームステイ、通訳など300名に及ぶ地域の皆様と開催。



2009年 — 創立45周年記念事業「燃えよ商店街」の開催

2010年 — 2010年代運動指針を策定
サイエンスアカデミーの開催
子供の科学離れをテーマに東京大学の学生を交えサイエンスアカデミーを開催

2011年 — RIDE and CHALLENGE 2011の開催
Youth Conference in Tachikawa 2011の開催
「子どもの国際交流」として宿泊事業を開催。

2012年 — **こどもドリームフェスタ 2012 in 武蔵村山の開催**
クールジャパンをテーマに、日本が誇れる文化を集結。JAXAや海老名健一氏(ダンス世界王者)などを迎え、子供たちが将来へ夢を描く機会として開催。

2013年 — 公益社団法人格取得
「ギネスに挑戦! 未来の自分に自信と誇りを」の開催

2014年 — 創立50周年
50周年記念事業「キッズドリームチャレンジ」の開催
第26回わんぱく相撲東京都大会 立川大会の開催

2015年 — Tachikawa Global One Projectの開催
「災害時における協力体制に関する協定」締結
(立川市社会福祉協議会)

2016年 — 第45回東京ブロック大会 立川大会の開催
第1回わんぱく相撲国立場所の開催

2017年 — キッズドリームチャレンジ実行委員会の設立
「『ゼロ-2030』に向けて～私たちの宣言～」を開催
SDGs(持続可能な開発目標)について中学生が議員会館で国会議員に未来への提言を行う。

2018年 — 「キッズドリームチャレンジ2018」を実行委員会と共催
「まちの種プロジェクト」を設立

2019年 — 創立55周年 創立55周年式典開催
JCIキャピタル姉妹締結
SDGs3市協働推進宣言締結(立川市・国立市・武蔵村山市)

2020年 — **新型コロナウイルス感染拡大予防対策 アルコール消毒液小学校へ配布**
初のWEB例会の開催

2021年 — 新たな青少年育成事業「こども未来塾2021」の開催
「災害時における協力体制に関する協定」締結
(国立市社会福祉協議会・武蔵村山市社会福祉協議会)

2022年 — コロナ禍を経て、3市合同わんぱく相撲の開催

2023年 — カーボンニュートラル推進を地域へ発信

2024年 — 創立60周年 創立60周年記念式典開催
TJC体験ラボ2024～未来へ繋がる3days～の開催

2025年 — Tachikawa Global Festaの開催

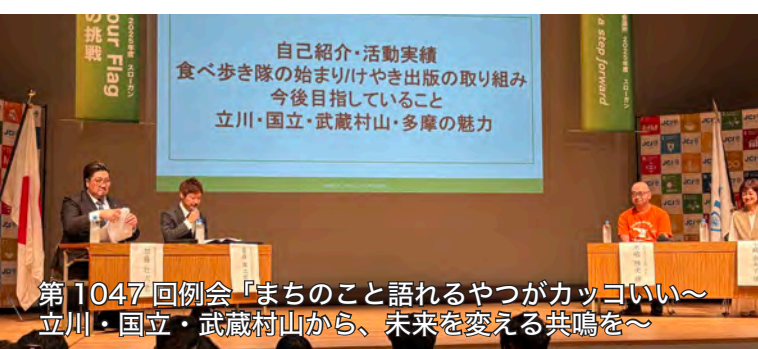




第 74 回関東地区大会主管決定



第 1040 回例会「地域で育てる! 子どもたちの心の成長」



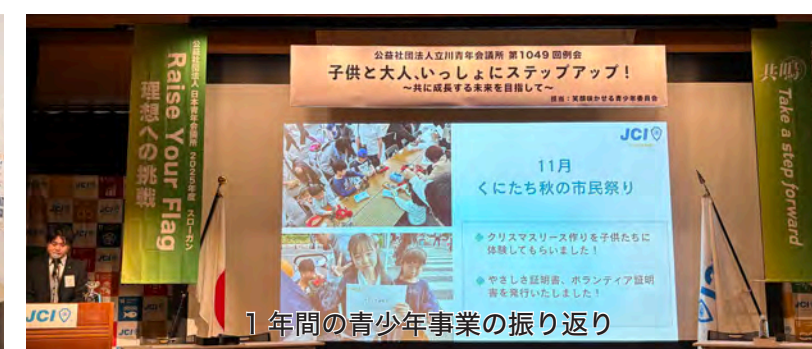
第 1047 回例会「まちのこと語れるやつがカッコいい〜 立川・国立・武蔵村山から、未来を変える共鳴を〜」



くにたち秋の市民祭りでクリスマスリース作り



よいと祭りで飾る提灯絵付け事業



1 年間の青少年事業の振り返り

地域事業

立川市・国立市・武蔵村山市の3市で活動する団体として、地域のお祭りなどのイベントや継続事業への参画、市民へ向けた事業の展開を通じて市民行政・諸団体との関係強化を図っています。「わんぱく相撲」は、地域の子供たちに運動の機会、礼節を学ぶ機会の提供として当会が主催し実施しています。地域のお祭りとしては、立川市は「よいと祭り」「たちかわ楽市」、国立市は「どんど焼き」「さくらフェスティバル」「市民祭り」、武蔵村山市は「デエダラ祭り」に参画し、実行委員会のサポートやブース 出展等を通じて地域の盛り上げを目指します。

新型コロナウイルスの影響を受け、各種イベント・事業は中止や以前とは違う形での実施がされた時期もありましたが、現在はコロナ禍以前に近い形でほぼすべての事業を実施することができています。本年度も地域に根ざしたまちの事業・お祭りなどに積極的に参画し、年間を通して3市をより元気で魅力的な「まち」になるよう地域の方々と関わっていきます。

青少年育成事業

立川青年会議所の青少年事業は、地域の未来を担う子どもたちが「自ら考え、行動し、地域に貢献できる人材」へと成長することを目的に展開されています。特に“体験から学ぶ”ことを重視し、学校では得られない実践的な学びの機会を提供している点が大きな特徴です。具体的には、地域のお祭り、環境保全活動、スポーツ・国際交流イベントなど、実際の地域活動に子どもが主体となって関わる場を設けています。大人と協力して一つの企画を形にする経験は、責任感や協働力、コミュニケーション力を自然と育みます。また、仲間と共に目標へ挑戦することで、リーダーシップや課題解決力も身に付きます。

さらに、背景の異なる子どもたち同士が交流することで、多様性を理解し、他者を尊重する姿勢を学ぶことも重要な成果のひとつです。立川青年会議所は、こうした継続的な取り組みを通じて、地域に根ざした次世代育成を推進し、将来のまちづくりの担い手を育てています。本年度は第74回関東地区大会を立川で開催されることで、地域にもさまざまな良い影響が広がります。



第 1044 回例会 Tachikawa Global Festa2025



2025 年に入会した新入会員で例会を実施



多文化共生に向けて Tachikawa Global Meetinfg を開催



第 1048 回例会「Tachikawa Global Vision-地域の声と想いを未来へ-」立川市に提言書を提出



第 1046 回例会 つながる交流会～出会いが未来をつくる～



ASPAC ウランバートル大会でブース出展

国際交流事業

立川青年会議所の国際交流事業は、多種多様な外国人居住者が増える現状に着目し、地域の多文化共生をテーマに、日本人が外国人を受け入れる「心」の醸成を目指して展開しています。青年会議所の信条の一つ「世界を繋ぐ友情」に基づき、1971年には韓国・温陽青年会議所と、2019年にはモンゴル・JCIキャピタルと姉妹締結を行い、定期的な交流を実施しています。2024年度は創立60周年記念式典にこれらの団体を招き、交流をしました。また、立川市とアメリカ・サンバーナディノ市の姉妹都市提携を背景に、高校生の相互交換留学事業にも参画。グローバル化が進む現代社会の中で、地域から世界へつながる経験を提供し、多文化理解と国際感覚を育む機会を創出しています。

研修・人材育成事業

所属する多くのメンバーとの出会いや交流、各地で開催されるセミナーへの参加を目的に、国際青年会議所、日本青年会議所、地区ブロック協議会が主催する様々な渉外事業の機会を提供します。日本全国から会員が集まる京都会議、アジア各国から集まるアジア・太平洋会議(ASPAC)など、新たな人との出会いや、触れ合いから生まれるアイデアや気付き、学びを得られる機会となります。また、青年会議所独自の研修プログラムを利用し、青年会議所運動の意義とやるべきことについて考えるセミナーを年に2回開催し、地域や仕事、家族に還元出来るような意識を醸成します。

2022年度入会




浅川 大輔 君
電気工事業
食品包装容器卸業

1. 入会のきっかけ
- 青森の定食屋で出会ったご老人の紹介
2. 入会してみたの感想
- 何より自分のスキルアップにつながっています。身だしなみや話し方、さらにPCスキルなども含め、成長を実感しています。また、同じ志を持った仲間がいることで大きな心の支えになっています。さらに、家庭や会社で起こる問題に対する解決力も磨かれています。
3. 入会を検討している方へ
- 立川青年会議所では子どもから大人まで、さらには国を超えて地域課題の解決に取り組むさまざまな活動を通じて、その経験をすることができます。20代・30代で得られる経験は、必ず将来の自分の武器となるチャンスです。一緒にこの地域を盛り上げていきましょう！

4. 1日のスケジュール
- 4:45 起床
- 5:15 出社
- 5:30 JC活動
- 7:30 業務開始
- 17:00 業務終了
- 19:00 JC活動
- 21:00 懇親会
- 23:30 帰宅翌日の準備
- 24:30 就寝

2022年度入会



皆本 晃 君
立川アスレティックFC

1. 入会のきっかけ
- パートナー企業の社長の紹介
2. 入会してみたの感想
- 地域で活躍している先輩のほとんどがJC出身の方で、JCに入っているというだけで認めてもらえることが多々ありました。 実際に運動も一生懸命やっていると大変が故にそれを一緒に乗り越えた仲間として信頼関係が得られると感じています。学校の部活みたいです。
3. 入会を検討している方へ
- 地域で活動していくなら入っておいて損はないと思います。さらにやればやるだけ色んな繋がりや仲間も出来るので、ぜひ一緒に地域を盛り上げて行きましょう。

4. 1日のスケジュール
- 5:30 起床
- 6:00 出発
- 7:00 チーム練習開始
- 9:00 チーム練習終了
- 10:00 自主練習終了
- 11:00 営業、MTG、事務作業
- 19:00 JC運動
- 21:30 帰宅
- 22:30 就寝

2024年度入会



小貫 雄太郎 君
弁護士

1. 入会のきっかけ
- 立川青年会議所のOBの方の紹介
2. 入会してみたの感想
- 現役・シニア問わず、とても温かい人たちが集まっている団体だと感じました。メンバーは年齢層が広く仲良くなれるか不安でしたが、切磋琢磨している間に仲良くなれました。参加者・協力諸団体から非常に感謝されたときには何物にも代え難いやりがいがあります。
3. 入会を検討している方へ
- 自分が住んでいる地域のことで案外知らないことが多いと思います。立川青年会議所に入会することで地域に愛着が湧きもっと知りたいと思うようになります。気の合う仲間達ともう一度青春時代を過ごすような体験をしたい方は、一度でも良いので事業に参加してみてください！

4. 1日のスケジュール
- 8:00起床/朝食・身支度など
- 10:00 出勤・業務開始
- 17:00 事務作業
- 19:00JC活動
- 21:00 懇親会
- 24:00帰宅
- 25:00 就寝

2025年度入会



高槻 翔太 君
Web(SEO)ライター

1. 入会のきっかけ
- 知り合いの紹介
2. 入会してみたの感想
- まず一番に感じたのは「温かさ」です。皆さんがとてもフラットに接してくださることに驚きました。そして、“地域の人と一緒に何かをする”という経験が新鮮で、貴重な学びとなっています。これから地域と自分自身の関わり方を深めていきたいと感じています。
3. 入会を検討している方へ
- 職業も立場も年齢も異なる仲間と出会い、力を合わせて地域の未来に関わっていく体験は、他ではなかなか得られないものです。まずは一度、見学からでも参加してみてください！

4. 1日のスケジュール
- 11:00 起床／身支度など
- 12:00 昼食
- 13:00 業務開始
- 18:00 ペットとの散歩
- 19:00 JC活動
- 21:00 懇親会
- 24:00 帰宅
- 26:00 就寝

2025年度入会




野川 奈々 君
消防・防災業の管理業務

1. 入会のきっかけ
- お客さまの紹介
2. 入会してみたの感想
- 一人ひとりが強い責任感を持っていて、目標達成に向けて行動する力に感銘を受けました。その姿勢に私自身も感化されており、行動力を高める良いきっかけをいただいています。
3. 入会を検討している方へ
- 私は最初はとても不安でした。ですが、短い人生の中で、やりがいのある時間を過ごしたり、その中で築いた友情は、きっとこの先も大切なものになるはずです。JCではそれを得られるのではないかと感じています。

4. 1日のスケジュール
- 7:00 起床・身支度
- 9:00 昼仕事の出勤
- 18:30 昼仕事の退勤
- 19:00 JC活動やカフェで作業
- 20:30 夜仕事の出勤
- 25:00 夜仕事の退勤
- 25:30 帰宅
- 26:30 就寝

2025年度入会



杉山 秀一 君
保険営業

1. 入会のきっかけ
- 立川青年会議所のOBの方の紹介
2. 入会してみたの感想
- 普段の仕事や生活の中では経験することのない様々な事業を通して、自身が成長できていることを実感しています。様々な業種のメンバーがいるので日々の交流から良いインスピレーションを受けています。
3. 入会を検討している方へ
- 青少年事業を通して地域の子どもたちが笑顔になる様子や国際交流事業を通して異文化への理解を深められたり立川青年会議所でなければ得難い経験の場がたくさんあります。まずは私たちの事業に参加してみてください！

4. 1日のスケジュール
- 8:00 起床／身支度など
- 10:00 出社
- 18:00 退勤
- 19:00 JC活動
- 21:00 懇親会
- 24:00 帰宅
- 26:00 就寝

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:
That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality; and
That service to humanity is the best work of life.

我々はかく信じる

真理は人生に意義と目的を与え

人類の同胞愛は国家による統治を超越し

公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ

政府には人治ではなく法治が必要であり

人間の個性はこの世の至宝であり

人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI Mission

To provide leadership development opportunities
that empower young people to create positive change.

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

JC 宣言

日本の青年会議所は希望をもたらす変革の起点として

輝く個性が調和する未来を描き社会の課題を解決することで

持続可能な地域を創ることを誓う

J C 三 信 条

Three creed

JC運動とは、若い人々が集まって自己啓発、修練を するものであり、

ついでにその力を用いて地域社会へのサービスを、さらにそのトレーニング、

サービスを支える力として会員全体を貫くフレンドシップがあります。

また、フレンドシップを培うことも、サービスに徹することも、

等しくトレーニングにつながるものであります。

個人の修練

青年会議所運動をするなかで
メンバーは自然と成長していきます。
社会の課題を調査研究する能力、
地域社会の人々から協力を得るために
交渉する能力、組織を動かす能力、
プレゼンテーション能力といった
様々な能力が磨かれていきます。

社会への奉仕

立川青年会議所は
「明るい豊かな社会の実現」に向けて、
社会的な課題を解決するために
メンバーが自分の能力と時間を使って
運動しています。社会への奉仕は
立川青年会議所の大きな目的ですが、
個人の修練を活かす場でもあります。

JCI Vision

To be the foremost global network of young leaders.

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを先導する組織となる。

綱領

われわれ JAYCEEは、社会的・国家的・国際的な責任を自覚し、

志を同じうする者相集い力を合わせ、青年としての英知と

勇気と情熱をもって、明るい豊かな社会を築き上げよう



世界との友情

立川青年会議所で運動することにより、
メンバー同士はもちろんのこと、
世界134の国や地域にある4780を超える
各地青年会議所メンバーや、運動の中で
関わる行政や地域の方達など、
今まで出会ったことのない多くの人々との
友情が芽生え、その友情によって
「奉仕」と「修練」が支えられています。

歴代理事長の紹介

The past presidents

| 歴代 | 氏名 | 職業 | スローガン |
|------|----------|-----------------------------------|--|
| 初代 | (故)中村 正久 | | (認証伝達式) |
| 第2代 | (故)森下 博 | | 考えるJC |
| 第3代 | (故)片海 晶良 | | 行動するJC |
| 第4代 | (故)下野 一男 | | JCらしく実践しよう |
| 第5代 | 高田 勝敏 | | JAYCEEの英知と勇気で社会開発 |
| 第6代 | 岩崎 泉 | ㈱立川パーキング・センター 社長 | 総意のJC運動を市民と共に展開しよう |
| 第7代 | (故)萬田 貴久 | | 創意と実り多いJC活動をしよう |
| 第8代 | 藤澤 弘志 | | 明日の市民社会の創造に参画し、実践するJC運動を展開しよう |
| 第9代 | 五十嵐 芳治 | 東京トイイ(有) 代表取締役 | 市民の共感と連帯を高めるコミュニケーションを展開しよう |
| 第10代 | 中村 克久 | ㈱N R E 中村亭 取締役会長 | THINK |
| 第11代 | 矢島 功 | 上石神井歯科 | 次なる10年の胎動のために共に語り、考え行動しよう |
| 第12代 | 梅田 俊一 | 梅田醤油(株) 代表取締役 | 現実を直視し、新しいJC運動を創造しよう |
| 第13代 | 杉山 次男 | 岩崎不動産(株) 常務取締役 | 新しい郷土のために若者はさわやかに行動しよう |
| 第14代 | (故)山上 公隆 | | 住みよいわが街のために若い力の輪を拡げよう |
| 第15代 | 小林 日文 | ㈱無門 会長 | 連帯・自立・輝く個 |
| 第16代 | 岩崎 喜功 | 岩崎倉庫(株) 取締役会長 | JC精神を奮い起こし原点に挑戦しよう |
| 第17代 | (故)尾崎 豊 | | 勇気ある行動。英知で築こう明日のわが街 |
| 第18代 | (故)加藤 精一 | | 高めよう連帯感拡げよう郷土愛。築こう21世紀への道 |
| 第19代 | 浦野 勇 | 学校法人 浦野学園理事長 | 総意の結集、貯える力。創ろう豊かな地域の時代 |
| 第20代 | (故)中川 務 | | TAKE YOUR ACTION |
| 第21代 | 鈴木 茂 | アーキフリー(株) 代表取締役 | 甦れ創始の心。そして今。新たなる挑戦の出発 |
| 第22代 | 中山 賢二 | ㈱なかやま不動産 専務取締役 | 興せ、地域維新の風。先駆けよう21世紀へ |
| 第23代 | 井山 光一 | gosengakufu(株) 会長 | 厳しい自覚。地域に翔け。青年の気概 |
| 第24代 | 小林 和雄 | 三井企画(株) 代表取締役 | 見つめ直そう、街・人・心 |
| 第25代 | 岡部 直士 | ㈱ヤマヲ 代表取締役社長 | 拓こう。愛ある新時代 |
| 第26代 | 須崎 八朗 | 元立川市議会議員 | めざせ幸福社会。興せ地域主導の波 |
| 第27代 | (故)荒生 信行 | | 立川から発信。もっと素敵なか地球づくり |
| 第28代 | 岩崎 春伸 | 岩崎不動産(株) 代表取締役 | 点せ! ESPRIT |
| 第29代 | 坂村 英之 | 社会福祉法人 草萌学舎 園長 | めざせ! 地球人。人と地球のハーモニー |
| 第30代 | 加藤 積一 | ふじようちえん 園長 | BUILD UP THE FUTURE |
| 第31代 | 渡辺 洋司 | | 感謝の心。謙虚な姿勢で地球づくり |
| 第32代 | (故)草野 孝毅 | | 隼より始めよ |
| 第33代 | 大久保 清隆 | ㈱大久保組 代表取締役 | まち・人・こころ。奏でよう、21世紀へのハーモニー |
| 第34代 | 岩下 光明 | 岩下商事(株) 代表取締役 | 創ろう共生社会。つながるネットワーク |
| 第35代 | 桂 耕史 | ㈱カンテック 代表取締役 | Dreams come true。今、創りだそう次代へ続く弛まなきムーブメント |
| 第36代 | 中山 賢一 | ㈱ライズデザイン 代表取締役 | 自立と変革、新しい時代へ。～地域から、ひとりひとりから～ |
| 第37代 | 栗原 一 | ㈱朝雅 代表取締役 | 青年よ! 地の塩となれ! |
| 第38代 | 小松 剛 | 有ロイアルティボディ 代表取締役 | Be POSITIVE!! Be CREATIVE!! Be ACTIVE!! 光り輝く個の集結 共に創ろう立川JCの新たな風 立川新世代待されるJCであれ。頼られるJayceeであれ |
| 第39代 | 木村 辰幸 | 社会保険労務士法人 木村事務所 代表社員 特定社会保険労務士 | |
| 第40代 | 田中 太 | ㈱ムサシ田中企画 代表取締役 | 新次元への挑戦!! 燃やせ心を!! |
| 第41代 | 矢澤 俊一 | ㈱YAZAWA LUMBER 代表取締役社長 | .challenge! |
| 第42代 | 尾上 研児 | ㈱ティーオーデリバリー 代表取締役 | Be a Leader. |
| 第43代 | 渡辺 博昭 | 渡辺電業(株) 代表取締役社長 | 時風を超え、次代を創る青年となれ! |
| 第44代 | 端 晶弘 | ㈱ハタ技術研究社 代表取締役社長 | All roads lead to the future。輝く未来へ。新たな気概を胸に |
| 第45代 | 宮崎 昭人 | ㈱匠技建 代表取締役 | 輝けJAYCEE!! ～志高きリーダーとして～ |
| 第46代 | 金子 幹広 | 社会福祉法人 草萌学舎 西国立保育園 園長 | React for Regions ーリアルな「運動法人」としてー |
| 第47代 | 松浦 孝治 | 松浦商事(株) 代表取締役 | All for smiles |
| 第48代 | 矢澤 貴光 | 矢澤電気(株) 代表取締役 | ～和敬清寂～ 気高く凛然とした青年であれ |
| 第49代 | 迎 浩一朗 | ㈱ティールウィンドシステム 代表取締役 | Impact One |
| 第50代 | 宇都木 健太 | ブルデンシャル生命保険 | Next50 今、変革の時。～確かな一歩を踏み出そう～ |
| 第51代 | 伊藤 大輔 | 東京都議会議員 | 自他共栄～新たな時代へ 勇気と情熱をもって～ |
| 第52代 | 中川 夕香 | ㈱立川徽章 常務取締役 | 地域力の創造!! ～TAKE YOUR ACTION～ |
| 第53代 | 岡部 栄一 | ㈱ヤマヲ 専務取締役 | 一期一会 ～燦然と輝く未来を見据えこの一瞬を生きる青年であれ～ |
| 第54代 | 松田 裕紀 | ㈱ユーキハウス 代表取締役 | 躍動～心で動き、あらゆる未来の希望となれ～ |
| 第55代 | 宮田 龍之介 | ㈱ARTBASE 代表取締役 | Scrap and build ー財産に頼らず、新たな価値を生み出すー |
| 第56代 | 畠山 亮昌 | 有多摩クリーン・サービス 代表取締役 | 心「感」性を大切にし、「思」いやり溢れる、「志」高い JAYCEE であれ |
| 第57代 | 都築 諒 | 熊野神社 禰宜 | KATAYABURI |
| 第58代 | 小林 優貴 | ㈱ユタカホームプラス 取締役 総務部長 | HERE COMES A NEW CHALLENGER ー未来を描き、一歩前へ踏み出そう～ |
| 第59代 | 山本 高義 | ㈱紀之国屋ベジタブルキッチン 常務取締役 | INNOVATION+Plus 大きな夢を描き、ともにチャレンジしよう!! |
| 第60代 | 片桐 庸行 | 有さゆり商店 取締役 | 飛躍 ～想いを紡ぎ、新たな道を創造する～ |
| 第61代 | 長井 俊 | ㈱長井工務店 専務取締役 | 共鳴～Take a step forward～ |
| 第62代 | 藤野 直美 | 有藤野企画 代表取締役 | 覚醒～私が動けば 未来がひらく |

Enrollment

立川青年会議所では、一緒に運動してくれるメンバーを募集しています。
20歳から38歳未満の方であれば、性別、国籍、職業を問わず入会できます。

入会メリット

地域を動かすリーダーとして成長できる

青年会議所では、実際の地域課題に向き合いながら学び、行動する機会がたくさんあります。
企画づくりやイベント運営、行政や企業との連携など、普段の生活ではなかなか経験できない挑戦を
仲間と一緒に積み重ねていきます。
その過程で、課題を見つける力、物事を形にする構想力、人を巻き込むコミュニケーション力が自然と育ちます。
「地域を良くしたい」という思いを行動に変える力が身につく場所です。

多様な仲間との出会いが人生を広げる

青年会議所には、業種も立場も価値観も異なる多くのメンバーが集まっています。普段の仕事では出会わないような
人たちと一緒に活動することで、新しい視点や刺激を得られ、自分の世界が広がっていきます。
活動を通じて生まれる繋がり、仕事にも人生にも良い影響をもたらす大きな財産になります。
年齢の近い仲間と共に笑い、悩み、挑戦する時間は、かけがえのない経験となります。

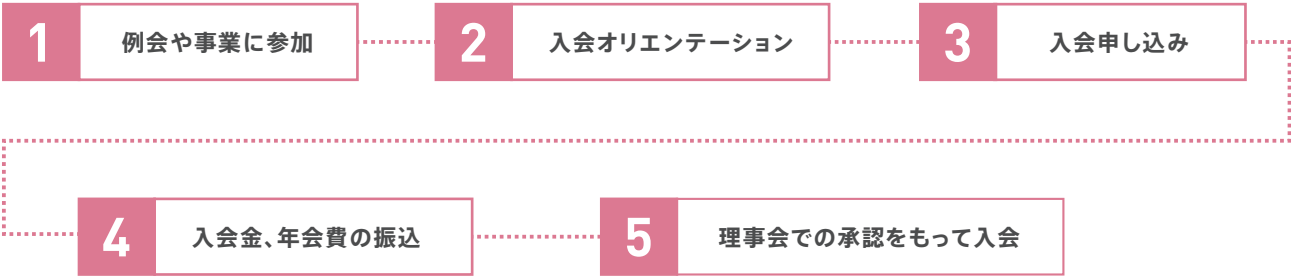
地域と繋がり、まちづくりに参加する

青年会議所の活動は、青少年育成、まちづくり、多文化共生、防災など、地域の未来に直結するテーマばかりです。
自分たちで企画し、地域の方々と協力しながら事業を形にしていくことで、「まちが少し変わった」という実感を得られます。
子どもたちの笑顔や地域の人の喜びに触れる瞬間は、自分の行動が誰かの力になっていることを強く感じられる時間です。
地域の未来に手を伸ばせる、そんなやりがいがあります。

会費

入会金 20,000円(初年度のみ)
年会費 130,000円 特別会費 10,000円

立川青年会議所入会の流れ

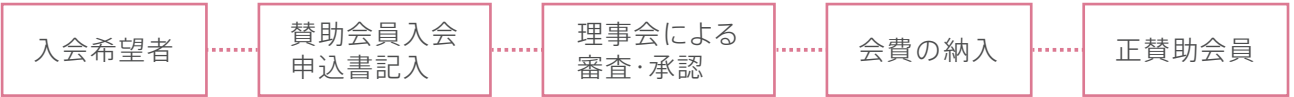


興味のある方は、まずは例会、
事業、オリエンテーションに参加してみませんか？

Recruitment Official Sponsor

私たちの運動にご賛同いただけるオフィシャルスポンサー（賛助会員）を募集しています。

| 賛助会員規定 | 入会手続き |
|--|---|
| 賛助会員は、本会の目的に賛同し、 その発展を助成しようとする個人、法人または団体です。 | 入会申し込みは随時とし、理事会での入会承認を受けた後、 総会で定める会費を納入することにより、 申込日をもって賛助会員となります。 |
| 在籍期間 | 賛助会員の権利 |
| 賛助会員としての在籍期間は1事業年度とし、 毎年所定の更新手続きを経て、継続することができます。 | 本会広報誌の配布を受ける権利。 例会等の本会の催す各種事業の通知を受ける権利。 その他当該年度の理事長が適当と認めた事項。 |
| 会費 | |
| 法人または団体 1:30,000円以上 1月～6月までに入会が確定した方 2:15,000円以上 7月～12月までに入会が確定した方 | |
| 入会までの手続き | |



公益社団法人 立川青年会議所 オフィシャルスポンサー

| | | |
|---|--|---|
| 立川市緑町 3-4 TEL 042-526-7700 | 立川市柴崎町 1-2-13 TEL 042-527-0111 | 立川市栄町 6-1 立飛ビル 3 号館 TEL 042-536-1111 |
| 立川市緑町 4-5 壽屋ビル TEL 042-522-9810(代) | 立川市柏町 1-26-4 TEL 042-534-1111 | 立川市柴崎町 3-6-17 ラングマンション 102 TEL 042-548-1178 |
| 立川市錦町 1-3-21-2F TEL 042-528-6156 | 国立市富士見台 2-15-7 TEL 042-580-2221 | 立川市上砂町 2-7-1 TEL 042-536-4413 |
| 立川市曙町 2-14-16 TEL 042-525-1121 | 昭島市東町 3-13-15 TEL 042-545-0741 | 武蔵村山市本町 2-16-1 TEL 042-560-5858 |
| 立川市柴崎町 3-7-16 TEL 042-548-4111 | 立川市緑町 3173 TEL 042-528-1867 | 立川市錦町 1-12-1 TEL 042-521-1111 |
| 昭島市福島町 3-14-13 TEL 042-511-3369 | 立川市曙町 2-14-11 TEL 042-527-5455 | 立川市泉町 500-4 アリーナ立川立飛 TEL 042-512-8177 |
| 立川市曙町 2-36-2-10F TEL 042-526-3841 | 立川市曙町 2-7-19MA ビル 2 階 TEL 042-519-3421 | 立川市曙町 2-16-6 TEL 042-512-8418 |
| 立川市曙町 2-20-9-1603 TEL 042-528-1232 | 立川市柴崎町 3-9-21 TEL 042-522-7101 | 立川市錦町 1-12-18-4 階 TEL 042-595-6564 |
| 立川市錦町 1-2-5 三浦ビル B1F TEL 042-595-9583 | 立川市曙町 2-14-23-1F TEL 042-540-4129 | 立川市曙町 2-21-10 ニュー立川ビル 1F TEL 042-404-2224 |
| 立川市曙町 2-23-9 阿部ビル 2F TEL 042-595-8196 | 武蔵村山市榎 1-1-3 TEL 042-566-8125 | 立川市曙町 2-32-2 TEL 042-525-2510 |
| 立川市錦町 3-5-22 YAZAWA DEUX ビル 5F TEL 042-521-6208 | | |

私たちの活動にご理解をいただき、ご賛同していただけるオフィシャルスポンサー（賛助会員）を募集しております。